

新清掃工場整備事業

環境部廃棄物処理課
電話:922-4800

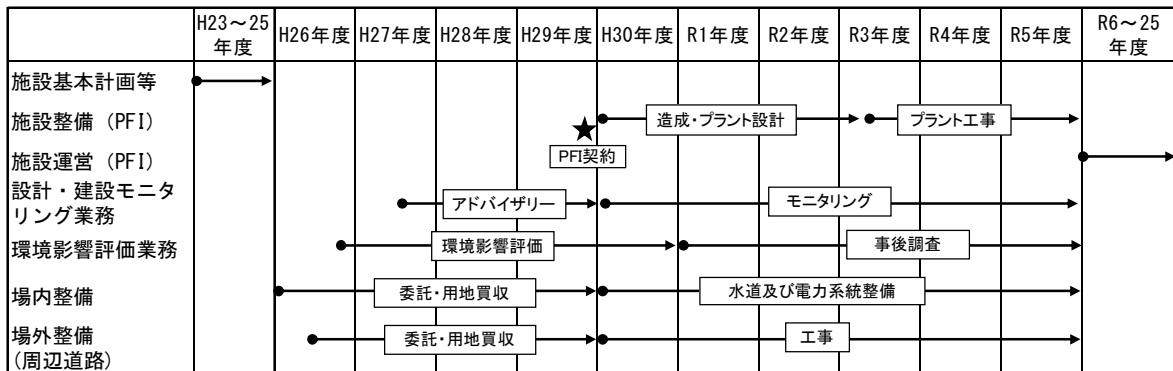
(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
衛生費	環境・ エネルギー	7,317,001	2,221,799	4,110,100	5,000	980,102

※財源(その他)事業所税

目的	一般廃棄物を安全かつ安定的に処理するため、令和6年4月の稼働を目指し、天竜区青谷に新清掃工場及び新破碎処理センターを整備する。
背景	現在稼働中の南部清掃工場(築41年)及び平和破碎処理センター(築29年)が老朽化しており、代替施設が必要である。
事業内容	<p>1 総事業費 83,059,831千円(施設運営費含む・事務所経費など除く)</p> <p>2 令和4年度事業内容 令和3年度末 全体進捗率30%(計画値30%)</p> <p>(1) 施設整備及び運営事業(PFI) 6,928,576千円 プラント設計、工事など</p> <p>(2) 設計・建設モニタリング業務委託 23,529千円 設計・建設における実施状況の確認・評価、事業者との協議支援</p> <p>(3) 環境影響調査業務委託 14,994千円 事後調査業務</p> <p>(4) 場内整備関係 281,587千円 配水管布設工事など</p> <p>(5) 場外整備関係 62,787千円 周辺道路工事など</p> <p>(6) 事務所経費など 5,528千円</p>

事業スケジュール 整備(平成30~令和5年度)及び運営(令和6~令和25年度)



【施設概要】

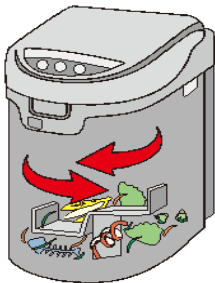



- ・焼却施設
処理能力 399 t / 24h (日) (可燃ごみ)
- ・破碎処理施設
処理能力 64 t / 5h (日) (不燃ごみ、粗大ごみ、プラスチック製容器包装)

ごみ減量推進事業	環境部ごみ減量推進課 電話: 453-6192
----------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
衛生費	環境・ エネルギー	101,220	3,973	0	0	97,247

※関連課 環境部環境政策課 (電話: 453-6146)
 ※生ごみ減量推進事業 6,062 千円、資源物集団回収団体活動促進事業 44,505 千円、
 みどりのリサイクル推進事業 27,598 千円、ごみ減量教育推進事業 8,093 千円、
 ごみ減量推進運営経費 23,571 千円、環境と SDGs 一体推進トライアル事業 7,834 千円の一部
 の合計

目的	市内から排出されるごみの減量を促進するため、市民の意識向上を図り、ごみ減量を推進する。
背景	家庭から出る一人1日あたりのごみの量は平成27年度(2015年度)以降横ばいで推移しており、政令指定都市平均を上回っている。
事業内容	<p>生ごみ処理機購入補助制度の拡充や雑がみ回収などにより、家庭ごみ減量を促進する</p> <p>1 家庭用生ごみ処理機購入費補助事業 2,636 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 生ごみの減量を強化するため補助件数を拡充。 補助上限額 10,000 円 (補助率 1/2) 補助件数 255 件 (令和3年度: 150 件) <p>2 (新規) 大型商業施設等での雑がみ分別袋配付事業 1,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設等と連携し、イベントや店舗における商品持ち帰り用として市民に雑がみ分別紙袋を提供することで、雑がみ分別を促進する。 <p>3 その他の事業 97,584 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化容器配付事業 3,426 千円 希望する市民に生ごみ堆肥化容器を配布 事業系一般廃棄物適正処理指導事業 9,373 千円 市内集積所への啓発看板設置、パトロールによる指導 環境と SDGs 一体推進トライアル事業 7,741 千円 インスタグラムを活用した市民参加型のキャンペーンによる雑がみ分別啓発 など
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【生ごみ処理機】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【大型商業施設等での雑がみ分別袋配布事業】 (事業イメージ)</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;">市</div> <div style="text-align: center;">  連携 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;">大型商業施設等</div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; display: inline-block;"> イベントや商品の持ち帰り用の雑がみ分別袋を配布 </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc; display: inline-block;">市民</div>  </div> </div> </div> </div>

海洋プラスチックごみ対策事業

環境部環境政策課
電話: 453-6149

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
衛生費	環境・ エネルギー	4,391	2,884	0	0	1,507

※環境と共生するまちづくり事業 6,578 千円の一部

目的	海洋プラスチックごみによる生態系や健康への影響を軽減するため、プラスチックごみの発生抑制を図る。
背景	本市の海岸における漂着ごみの8割以上がプラスチック類であり、海洋プラスチックごみの削減等の取組が必要である。
事業内容	<p>1 (新規) ウォーターサーバー設置事業 270 千円 海洋プラスチックごみの一因となるペットボトルの使用量を抑制する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所本館にマイボトルへの給水が可能なウォーターサーバーを7台導入(ウォーターサーバーは本市水道水を使用する) ・市役所本館の自動販売機を缶、紙カップ等のみ販売に変更 ・SNS、ポスター、庁内モニターを活用し、市民へマイボトル使用を啓発 <p>2 海洋プラスチックごみ問題環境劇上演事業 4,000 千円 小学校8校にて海洋プラスチックごみを題材とした劇を上演し、プラスチックごみ削減を啓発 ※令和3年度鑑賞児童数1,010人</p> <p>3 ボランティアによる海岸等の清掃への支援 121 千円 自発的な海岸等の清掃の促進するため、ボランティアの清掃活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページでの参加者募集の情報掲載 ・清掃物品(ゴミ袋、軍手)の提供 ・市ホームページでの清掃実績の情報掲載



【ウォーターサーバー】



【環境劇(令和3年度)】

就労支援事業

産業部産業振興課
電話: 457-2115

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
労働費	産業経済	41,001	26,975	0	0	14,026

目的 地域産業を担う人材確保のため、若者及び就職氷河期世代に対し、就労支援を行う。

背景 ハローワーク浜松管内の令和3年11月の有効求人倍率は1.18倍となっており、5か月連続で1.0倍を上回っている。しかし、新型コロナウイルス感染拡大以前の水準（平成30年度1.68倍、令和元年度1.42倍）までは回復していない。

(単位: 千円)

No.	事業名	内容	事業費
1	高校生就業体験推進事業	体験を受け入れた企業に奨励金を交付	4,635
2	高校生就職支援セミナー事業	希望する高校に講師を派遣し、就職セミナー等を実施	1,037
3	高校生職場見学実施事業	高校生の職業意識形成支援の一環として企業見学を実施	1,581
4	地域若者サポートステーションはままつ事業	就職支援、職場での定着支援を実施	6,044
5	就職面接会開催事業	ハローワーク浜松と就職面接会を実施	729
6	就職氷河期世代就職相談会事業	キャリアコンサルタント等の専門資格者による個別就職相談会を実施	2,569
7	地域若者サポートステーションはままつ就職氷河期世代支援事業	No.4事業を拡充する形で臨床心理士等の相談員2人を配置し支援を実施	1,706
8	【臨時】就職氷河期世代インターンシッププログラム事業	支援対象者の正規雇用化を推進するため、座学研修及び職場実習等を実施	20,632
9	【臨時】就職氷河期世代支援プロモーション事業	就職氷河期世代の支援対象者の掘り起こしを行うため、デジタル広告を実施	2,068
合 計			41,001

事業内容

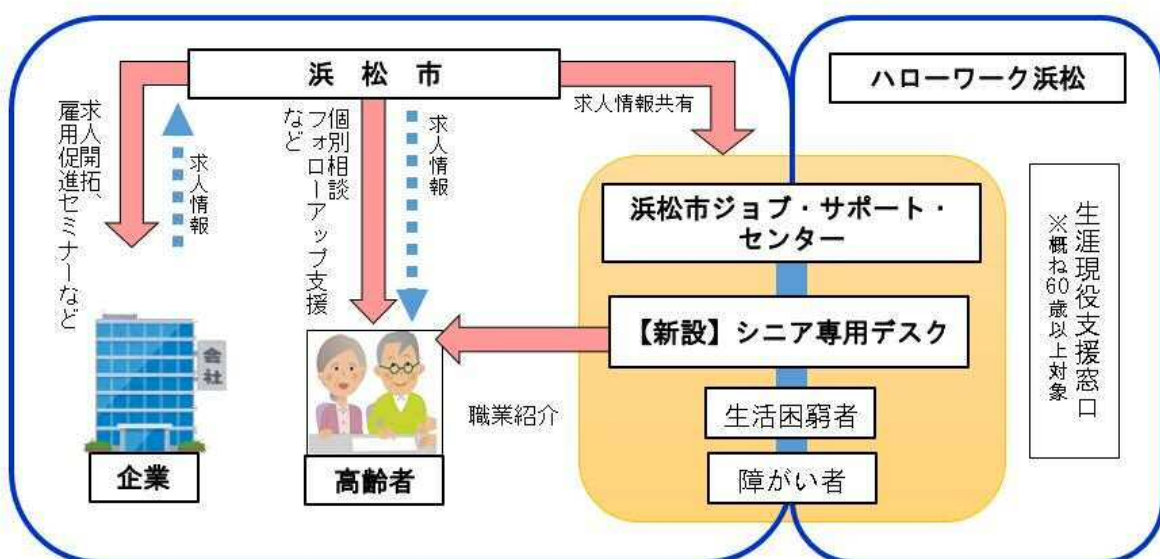


(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
労働費	産業経済	17,971	8,985	0	0	8,986

※高齢者就労環境整備事業 18,284 千円の一部

目的	ハローワーク浜松と連携し、高齢者の就労環境の整備を推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク浜松管内において、働く意欲のある高齢者の求職者数増加に対して、企業の求人数が少ない。 ・本市においては、高齢者に特化した職業紹介窓口がハローワーク浜松の「生涯現役支援窓口」の1か所のみである。
事業内容	<p>令和4年4月から、ハローワーク浜松との連携により、浜松市ジョブ・サポート・センター（市役所本館2階）内に「シニア専用デスク」を設置するとともに、高齢者の就労を促進するため、市内企業や高齢者に対する働きかけなどを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「シニア専用デスク」の開設 就労を希望する高齢者を支援するための相談窓口を設置し、職業相談や紹介等を実施 2 企業への働きかけ 求人開拓、高齢者雇用のアドバイザー派遣、企業向け高齢者雇用促進セミナーの実施 3 高齢者への働きかけ 個別相談会、就労支援セミナー、就職フェアの実施、フォローアップ支援



〈新規〉野生動物捕獲者支援事業

産業部農業振興課
電話: 457-2332

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水 産業費	産業経済	1,210	0	0	0	1,210

※農作物被害対策支援事業 84,690 千円の一部

目的	銃猟免許の取得及び更新に必要な経費等の一部を支援することにより、イノシシ、シカ等の野生動物による農林水産物被害の防止活動を担う捕獲者を確保する。	
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、野生鳥獣による深刻な農作物被害が発生している。 (令和2年度被害額 55,485 千円) ・ 銃猟免許の取得及び更新時にかかる経費負担が、猟友会等の会員数減少の理由の一つとなっている。 	
事業内容	第一種・第二種銃猟免許の新規取得経費及び更新経費の一部を助成する。	
	区分	新規取得
	交付額	25,000 円/人
	交付先	更新 (3年に1度)
	対象者	16,000 円/人
	対象者数	野生動物捕獲を目的に組織された団体及び野生動物を捕獲する猟友会
	対象経費	交付先団体に所属し、有害捕獲 (※1) 及び個体数調整 (※2) に従事する者
	10 人	60 人 (上記従事者の 1/3)
	銃猟免許申請手数料、銃猟免許申請用診断書、教習資格認定申請手数料など	銃猟免許更新申請手数料、銃猟免許更新用診断書、技能講習会受講料など
	※1 有害捕獲	農作物等の被害防止のために行う捕獲
	※2 個体数調整	県が特定鳥獣保護管理計画で定めた特定鳥獣の数を調整するための捕獲

〈イメージ〉



猟友会の捕獲活動



くくり罠で捕獲したニホンジカ

〈拡充〉 農業次世代人材投資事業

産業部農業振興課
電話: 457-2331

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水 産業費	産業経済	297,629	297,378	0	0	251

目的	農業の持続的な発展を支える次代の担い手を確保するため、就農開始時に必要となる経費の負担を軽減し、円滑な就農及び就農後の定着を促進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の基幹的農業従事者は平成 27 年（2015 年）からの 5 年間で 23%減少している。 ・ 国の就農実態調査によると、新規就農者の 71%が資金の確保に苦慮しており、経営が軌道に乗るまでの支援が必要である。
事業内容	<p>市農業振興ビジョンの基本方針に基づき、新規就農者の確保・育成を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> （新規）経営発展支援事業費補助金 206,250 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 49 歳以下で令和 4 年度に新たに農業経営を開始する認定新規就農者 ・ 対象件数 経営開始資金の交付対象 15 件、親元就農 20 件 計 35 件 ・ 対象経費 施設整備、機械導入、果樹・茶改植等 ・ 補助率 3/4（上限額 7,500 千円又は 3,750 千円） ・ 負担割合 国 2/3、県 1/3 （新規）経営開始資金 17,250 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 就農時 49 歳以下で前年の世帯所得が 600 万円未満の認定新規就農者 ・ 対象件数 15 件 ・ 交付額 年額 1,500 千円、最長 3 年 ・ 負担割合 国 10/10 農業次世代人材投資資金（経営開始型） 73,125 千円 上記 2 の過年度交付開始者への交付分 （新規）農業次世代人材投資資金農業者メンター制度事業 1,004 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業次世代人材投資資金（経営開始型）の対象者に対するサポートチームのうち、農業経営・地域生活等の専属担当に選任した先輩農業者（メンター）への謝礼
<p>〈支援体制〉</p>	

〈新規〉農村公園施設整備事業

産業部農地整備課
電話:457-2312

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水 産業費	産業経済	7,300	0	0	2,800	4,500

※関連課 財務部アセットマネジメント推進課 (電話:457-2533)

※公有財産維持管理事業 308,806千円の一部、農村公園維持管理事業 27,406千円の一部の合計

※財源(その他) 資産管理基金繰入金

目的	農村公園を適切に維持管理することにより、農村地域のコミュニティ活動を通して活力ある地域を創造する。		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・農村公園の維持管理は、市直営のほか、自治会及び公園愛護団体等により行われているが、高齢化や人口減少により、組織の継続が困難になっている地域がある。 ・施設老朽化による修繕・更新費用の増加が見込まれることから、農村公園の現状を整理し、再編を進めることが急務となっている。 		
事業内容	<p>1 農村公園再編計画策定事業 (令和4年度ゼロ予算事業)</p> <p>市内43農村公園の維持管理の効率化を図るため、現状を整理するとともに再編計画を策定する。</p> <p>(1) 実施内容 再編基本方針の検討、再編対象の選別、施設機能の整理等</p> <p>(2) 今後のスケジュール 令和5年度 施設機能別の整備手法の検討、とりまとめ 令和6年度 優先度の設定、移管・用途廃止の調整等</p>		
	<p>2 農村公園施設整備事業 7,300千円</p> <p>借地返還に向けて金指農村公園及びあざまる農村公園を整備する。</p>		
	区分	金指農村公園	あざまる農村公園
	所在地	北区引佐町金指	天竜区熊
	事業費	4,500千円	2,800千円
	整備内容	園内灯・ベンチ・公園路・水道 受電附帯設備の撤去、高木伐採	建屋・園路・水道受電 附帯設備の撤去
	日常管理	愛護会(令和3年度解散)	市
	方針	閉園	規模縮小



金指農村公園



あざまる農村公園

〈新規〉森林サイクル適正化検証事業

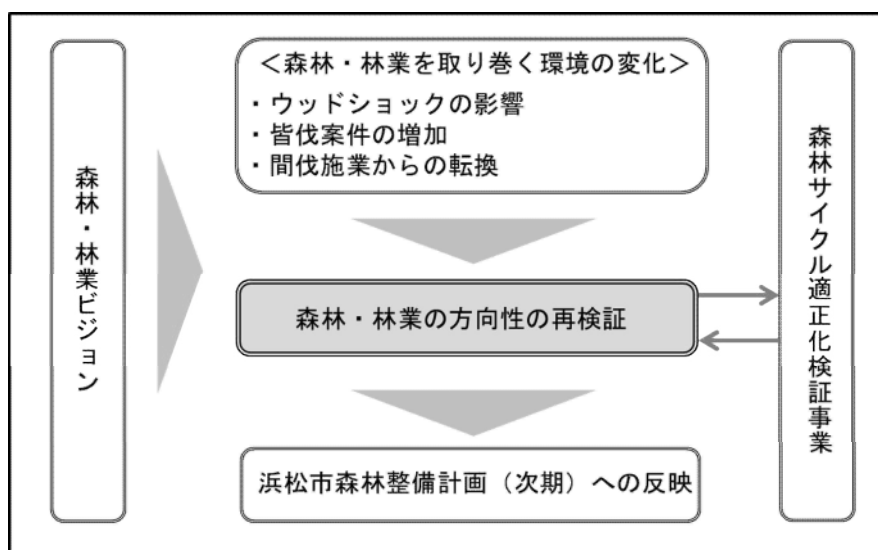
産業部林業振興課
電話: 457-2159

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水 産業費	産業経済	2,739	0	0	0	2,739

※森林認証推進事業 4,537 千円の一部

目的	将来的な市内森林施業の方向性を検討するため、皆伐、再造林及び天然更新について調査を行い、今後の市内森林の適正管理を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の間伐作業を進めた結果、残存した人工林が成長過多となっており、今後の施業への影響が危惧されるとともに、高齢級の人工林は二酸化炭素の吸収量が少ないため、環境的側面からも林齢の若返りが必要となっている。 ・木材価格の上昇により、計画性の低い皆伐が増加傾向にあり、皆伐後に植林が適正になされない場合は、山地災害につながるおそれがある。
事業内容	<p>法令及び森林整備に関する計画等の検証、今後の持続可能な皆伐・再造林や天然更新(※)の位置付けの調査、検討をする。</p> <p>※天然更新: 森林伐採後、植栽を行わず自然落下した種子等から樹木を定着させる方法</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の森林整備計画、森づくりビジョン、森林状況等の調査 ・林業・木材関係団体、自伐林家及び全国の森林整備状況に精通した知識経験者等へのヒアリング ・天竜区内森林での現地事例調査 ・上記検証内容について、天竜林材業振興協議会等の主要団体から意見聴取



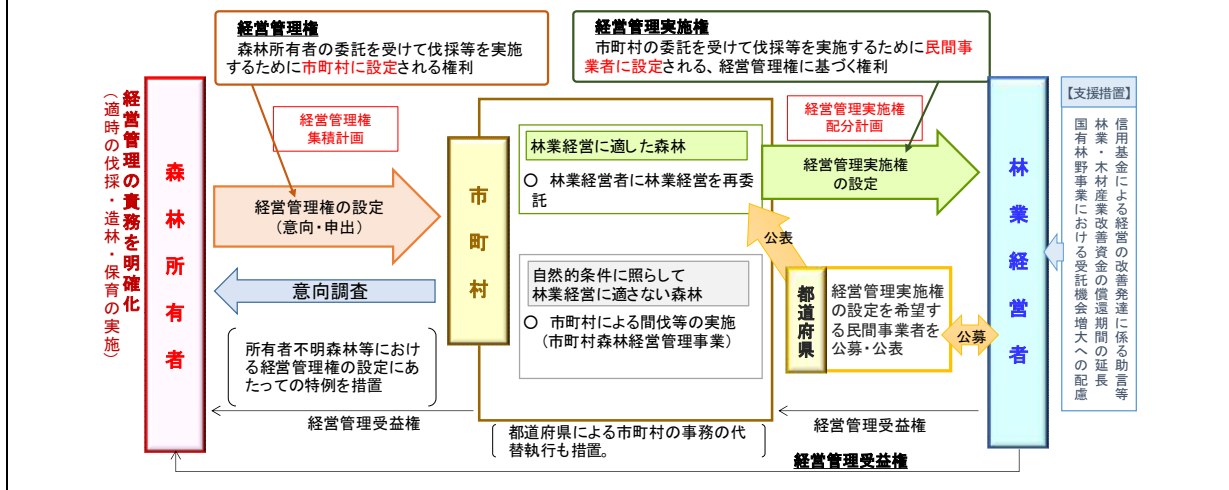
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水 産業費	産業経済	48,799	0	0	48,799	0

※財源(その他) 森林環境譲与税

目的	森林経営管理法に基づき、適切に管理されていない森林の所有者への意向調査や現地調査等を実施し、同意が得られた森林の整備を進めることにより、林業の活性化及び森林環境の改善を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私有人工林約 62,000ha のうち約 20,000ha (約 32%) が適切に管理されておらず、本事業の対象となる。 令和元年度から、林業経営に適した森林を優先して所有者への意向調査等を進めており、令和2年度からは、新たな森林の調査と並行して、前年度調査した森林のうち経営に適さない森林に対し市が経営管理権を設定し整備している。
事業内容	<p>1 森林管理意向確認等調査事業 37,740 千円</p> <p>(1) 実施内容 適切に管理されていない森林の抽出、森林所有者への意向調査、経営管理権集積計画の作成、同意の取得等</p> <p>(2) 令和4年度対象範囲 360ha (1地域あたり 40ha × 9地域)</p> <p>2 浜松版森林経営管理事業 11,059 千円</p> <p>(1) 実施内容 前年度の調査結果を基にした、林業経営に適さない森林の整備</p> <p>(2) 令和4年度対象範囲 24ha (令和3年度調査地約 240ha の1割)</p>

森林経営管理法の概要




天竜材の家百年住居る助成事業

産業部林業振興課
電話: 457-2159

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水 産業費	産業経済	82,330	0	0	79,000	3,330

※財源（その他）森林環境譲与税

目的	天竜材（FSC 認証材）を使用した住宅の建築主を支援し、天竜材の地産地消を推進することで、地域の森林資源の循環利用を実現する。	
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、天竜材の利用拡大及び地産地消の推進に関する最重要施策として、浜松地域材利用促進協議会と協働して実施している。 ・ウッドショックによる外国産材の代替需要の増加に伴い、令和3年度と比較して本事業の申請件数が大幅に増加している。 	
事業内容	1 天竜材の家百年住居る事業費補助金 79,000 千円	
	区分	補助内容
	対象者	市内で天竜材（FSC 認証材）を一定量使用して住宅を建築する建築主
	補助額	FSC 認証材 1 m ² あたり 2 万円
	条件	以下のすべてを満たす住宅 ・市内に新築又は増築する FSC 認証材を使用した住宅 ・FSC 認証材を主要構造体（土台・柱・梁等）使用量の 80%以上使用、かつ内装材と合わせて 5 m ² 以上使用 ・居住面積 66 m ² 以上
	上限額	1 棟につき 30 万円
	加算内容 以下の条件を満たした場合、20 万円を加算 COC 認証（※）取得工務店が建築した住宅 ※FM（森林管理）認証林から産出された木材等を適切に管理・加工していることを認証する制度	
	2 補助金申請業務委託事業 3,330 千円 事務局の設置・運営、コールセンター業務、補助金交付関係事務など	
		
	天竜材（FSC 認証材）を使用した住宅	

新型コロナウイルス感染症対策貸付金利子助成事業

産業部産業振興課
電話: 457-2281

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	993,000	25,000	0	968,000	0

※財源（その他）新型コロナウイルス感染症対策貸付金利子助成事業基金繰入金

目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上減少など業況が悪化している中小企業者等の資金繰りを支援する県の制度融資と協調し償還利子を助成する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月18日に、県の制度融資と協調した償還利子助成制度「浜松市新型コロナウイルス感染症対応関連償還利子補助金交付要綱」を制定した。 令和2年9月に、「浜松市新型コロナウイルス感染症対策貸付金利子助成事業基金に関する条例」を制定し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を基金に積み立てることで資金の財源確保と安定的な支援を図る体勢を整えた。
事業内容	<p>1 利子助成事業 968,000 千円</p> <p>(1) 対象者 令和2年3月18日から令和4年3月31日までに県貸付制度の貸付を受けたもののうち、市内に主たる店舗・工場・事業所を1年以上有し、かつ、1年以上継続して事業を営んでいるもの</p> <p>(2) 補助額 県貸付制度の貸付を受けた日から3年間分の償還利子額（県0.67%利子補給後）</p> <ul style="list-style-type: none"> 利子補給率 セーフティネット4号保証、危機関連保証利用 →1.3% 普通保証、セーフティネット5号保証利用 →1.4% <p>(3) 補助・申請期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請期間 毎年6月から8月まで（令和3年度から令和7年度まで） 補助対象 申請年の前年度に償還した利子額 <p>2 補助金申請業務委託事業 25,000 千円 事務局の設置・運営、コールセンター業務、補助金交付関係事務など</p>

<新型コロナウイルス感染症対策貸付金利子助成事業概要>

静岡県経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応枠）

- 金利（SN4号、危機関連）1.3%、（普通、SN5号）1.4%
- ※県が0.67%利子補給後の金利

市が償還利子を助成（3年間）
（SN4号、危機関連）1.3%、（普通、SN5号）1.4%

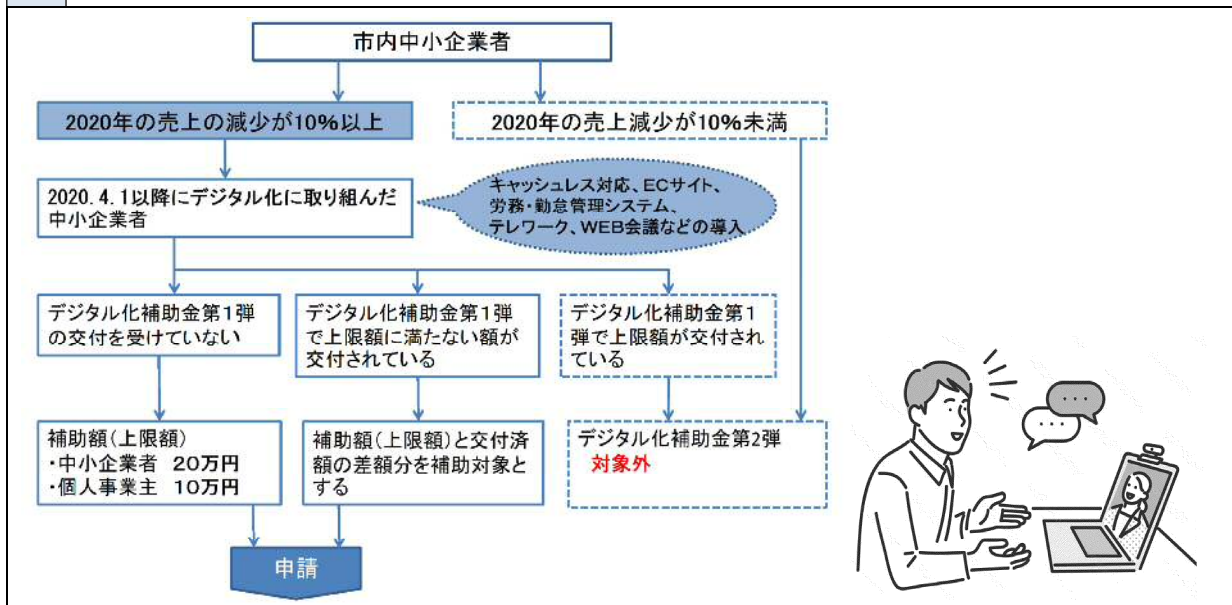
事業者（実質3年間無利子）

[令和3年度実績見込み] 2,152件 800,015千円

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	220,000	220,000	0	0	0

目的	コロナ禍で売上が減少している中小企業者のデジタル化による「新しい生活様式」への対応や「業務改善」への取組に対し補助金を交付し、デジタル化を推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据え、中小企業の経営を持続可能とするために企業のデジタル化は必要不可欠であるが、コロナ禍において売上が減少し、経営不安などからデジタル化への投資が進まないことで企業活動の持続性が損なわれる可能性が高い。 ・令和3年度9月補正において、新型コロナウイルス感染症対策デジタル化応援事業第1弾を実施している。
事業内容	<p>1 浜松市新型コロナウイルス感染症対策デジタル化補助金 190,000 千円</p> <p>(1) 対象要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和3年の売上が、令和元年又は2年と比較して10%以上減少している市内の中小企業者 ・令和2年4月以降新たに、新しい生活様式への対応や生産性の向上等を目的にデジタル化に取り組んでいる中小企業者 <p>※第1弾の交付額が上限額に満たない場合は、差額を上限とし対象とする。</p> <p>(2) 補助金(上限額)</p> <p>中小企業者 20万円 個人事業主 10万円</p> <p>2 補助金申請業務委託事業 30,000 千円 事務局の設置・運営、コールセンター業務、補助金交付関係事務など</p>



〈新規〉販売会開催事業

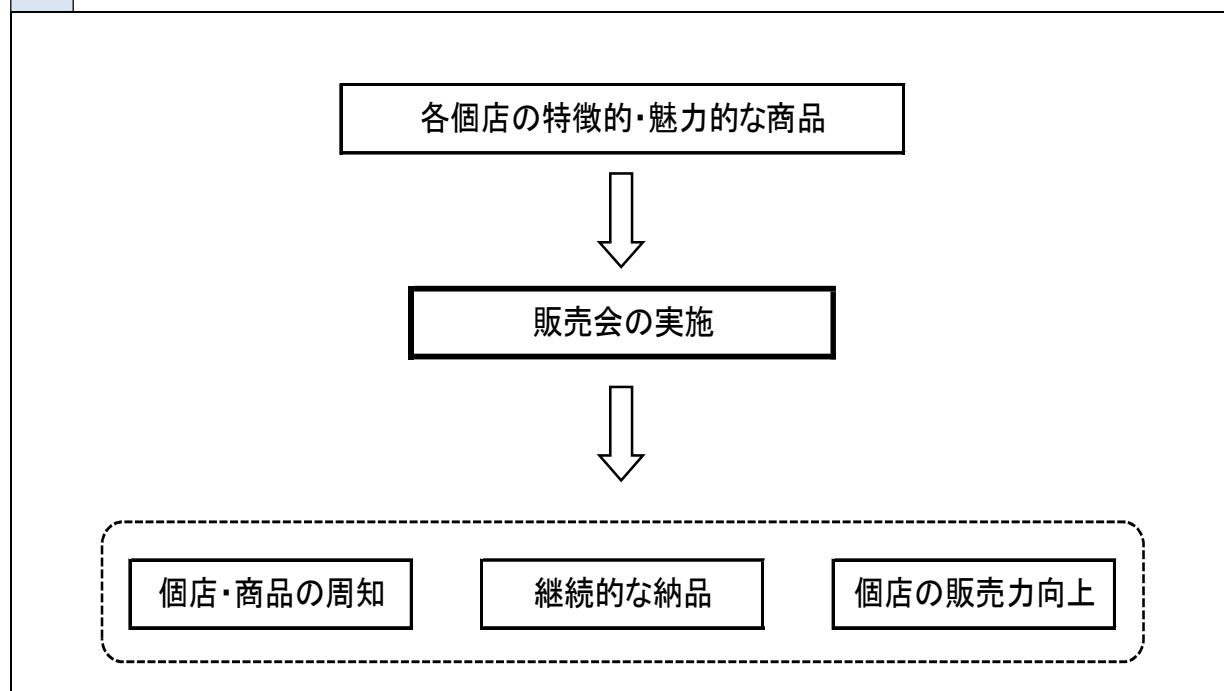
産業部産業振興課
電話:457-2285

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	5,840	5,840	0	0	0

※商業振興支援事業 7,225 千円の一部

目的	新型コロナウイルス感染拡大の影響により販路が縮小した飲食事業者等に対し、新たな販路開拓を支援する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年の全国的な緊急事態宣言発令以降、新型コロナウイルス感染症の収束には至っておらず、影響が継続している。 飲食事業者等を取り巻く環境は、景況調査等において回復の兆しが見られるものの、感染拡大前の水準とは程遠い状況である。
事業内容	<p>市内の大型店において飲食事業者の食品等の販売会を開催する。</p> <p>1 販売会までの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売にあたっての必要事項を専門家が支援 食品販売の際の成分表示のラベル表示等について、不慣れな個店へ専門家からの指導を実施 <p>2 販売会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売当日に商品を配置する机等のレンタル 販売ブースの装飾 会場借り上げ <p>※実施時期、会場については新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し検討</p>



空き店舗利活用事業費補助金制度の見直し

産業部産業振興課
電話: 457-2285

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	5,500	0	0	0	5,500

※商業者支援事業費助成事業 6,500 千円の一部

目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により増加した空き店舗、空き家等の遊休不動産の利活用促進を図る。													
背景	本市の中心市街地等は、これまでの賑わいの喪失に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりさらに疲弊した結果、空き店舗、空き床等が増加しており、空き店舗等の利活用は喫緊の課題である。													
事業内容	空き店舗、空き家等の遊休不動産の利活用促進を図るため、「空き店舗利活用事業費補助金制度」を見直す。													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現行</th> <th>主な変更点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象エリア</td> <td>①市内の商店街の空き店舗 ②商店会の存しない市中心部の空き店舗（起業家カフェ及びリノベーションスクール終了から1年以内）</td> <td>①市中心部の空き店舗等 ※商店会の存しない市中心部の空き店舗に係る制限を撤廃 ②市中心部以外の商店街の空き店舗等</td> </tr> <tr> <td>対象物件</td> <td>・空き店舗</td> <td>・空き店舗等 ※空き店舗、空き家等の全物件に拡大</td> </tr> <tr> <td>補助上限額</td> <td>・補助金上限額：70万円 （市中心部の商店街の空き店舗に出店する場合）</td> <td>・補助金上限額：150万円 （下記区分ごとの上限額50万円） ①空き店舗等契約に係る初期費用等 ②空き店舗等改装費 ③空き店舗等インフラ整備費</td> </tr> </tbody> </table>		現行	主な変更点	対象エリア	①市内の商店街の空き店舗 ②商店会の存しない市中心部の空き店舗（起業家カフェ及びリノベーションスクール終了から1年以内）	①市中心部の空き店舗等 ※商店会の存しない市中心部の空き店舗に係る制限を撤廃 ②市中心部以外の商店街の空き店舗等	対象物件	・空き店舗	・空き店舗等 ※空き店舗、空き家等の全物件に拡大	補助上限額	・補助金上限額：70万円 （市中心部の商店街の空き店舗に出店する場合）	・補助金上限額：150万円 （下記区分ごとの上限額50万円） ①空き店舗等契約に係る初期費用等 ②空き店舗等改装費 ③空き店舗等インフラ整備費
		現行	主な変更点											
	対象エリア	①市内の商店街の空き店舗 ②商店会の存しない市中心部の空き店舗（起業家カフェ及びリノベーションスクール終了から1年以内）	①市中心部の空き店舗等 ※商店会の存しない市中心部の空き店舗に係る制限を撤廃 ②市中心部以外の商店街の空き店舗等											
対象物件	・空き店舗	・空き店舗等 ※空き店舗、空き家等の全物件に拡大												
補助上限額	・補助金上限額：70万円 （市中心部の商店街の空き店舗に出店する場合）	・補助金上限額：150万円 （下記区分ごとの上限額50万円） ①空き店舗等契約に係る初期費用等 ②空き店舗等改装費 ③空き店舗等インフラ整備費												

活用事例



『長坂養蜂場 はちみつスイーツアトリエ』



『双子座文具店』

リノベーションまちづくり推進事業

産業部産業振興課
電話: 457-2285

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	27,404	0	0	13,000	14,404

※リノベーション推進事業 33,700 千円の一部

※財源(その他) 一般寄附金

目的	中心市街地等における空き店舗、空き床等について、リノベーションによる有効活用に向けた支援を行い、リノベーション事業の推進とまちづくりの担い手育成により中心市街地等の活性化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市の中心市街地は、市民の消費活動の変化やニーズの多様化等から、空き店舗、空き床等が増加し、にぎわいの喪失が顕在化しており、地域が抱える課題に対応した新たなまちづくりが急務である。 2014年度よりリノベーションスクールを開催し、リノベーションまちづくりを推進している。
事業内容	<p>リノベーション事業の推進とまちづくりの担い手育成に向け、リノベーションスクール(個人版・企業版)、普及イベント等を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> リノベーションスクール(個人版・企業版)開催 13,149 千円 <ul style="list-style-type: none"> 個人版 20 人程度募集 企業版 15 社程度募集 (新規) リノベーションまちづくり普及イベント開催 11,000 千円 <ul style="list-style-type: none"> 場所 メイン会場: ソラモ、サブ会場: 新川モール、リノベ関係事業物件 時期 11月上旬(予定) 内容 リノベーションスクール(個人版)公開プレゼンテーション、トークイベント、ワークショップ、マルシェ等 (新規) リノベーションスクール提案事業支援 3,255千円 ガバメントクラウドファンディングを実施(スクール提案事業2件)



『長坂養蜂場 はちみつスイーツアトリエ』
リノベーションスクール(企業版)提案事業
※企業版事業化実績: 3 件



『浜松サザンクロス ほしの市』
リノベーションスクール(個人版)提案事業
※個人版事業化実績: 13 件

〈新規〉浜松市エリアリノベーションサロン事業

産業部産業振興課
電話:457-2285

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	4,970	0	0	0	4,970

※リノベーション推進事業 33,700 千円の一部

目的	本市の不動産業者、建築・設計業者等が、エリアリノベーションに関するノウハウやビジネスモデルに触れる機会を創出し、エリアリノベーションの実践を促す。
背景	リノベーションまちづくりを面的に拡げ、強力に推進するためには、エリアをプロデュースする意識を持ちながらリノベーションを実行、展開する不動産業者、建築・設計業者等の育成とエリアリノベーションをより効果的に進めるためのビジネスモデルの構築が必要である。
事業内容	<p>1 内容</p> <p>(1) シンポジウムの開催及びサロン参加者の募集 リノベーション事業に関心を持ち、エリアリノベーションに志を有する本市の不動産業者、建築・設計業者等が広く参加するシンポジウムを開催し、その中から「浜松市エリアリノベーションサロン」参加者を10者程度募集する。</p> <p>(2) サロンの開催 サロン参加者が設定する本市内のエリアにおいて、エリアリノベーション事業計画案を策定する「浜松市エリアリノベーションサロン」を3日間(予定)開催する。</p> <p>(3) コーチング 参加者から随時行われる質問や相談に対応する。</p> <p>2 スケジュール(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5~6月 シンポジウムの開催、参加者の募集 ・7月以降 浜松市エリアリノベーションサロンの開催

事業エリアのイメージ



サザンクロス商店街エリア



尾張町エリア

〈新規〉大河ドラマ関連まちなか活性化事業

産業部産業振興課
電話: 457-2285

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	3,190	0	0	0	3,190

目的	令和5年に大河ドラマ「どうする家康」の放送にあわせ、ゆかりの地となる本市への来訪者へのおもてなしを表現するとともに、中心市街地の賑わいづくりを図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマを活用したプロジェクトを推進するため官民一体の「家康プロジェクト推進協議会」が設置され、分野別分科会の1つとして「まちなか分科会」を設立。 官民一体で組織する分科会において、実施事業の検討を行う。
事業内容	<p>雰囲気醸成を図るため、大河ドラマ関連のフラッグを作成して取付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッグ製作・取付業務委託 3,190千円 (以下予定) デザインは家康プロジェクト推進協議会で公募したロゴマーク等を使用 設置場所: 中心市街地の商店街街路灯等 (約450枚) 設置期間: 令和5年1月のドラマ放送開始前から令和5年12月のドラマ放送終了後 賑わいづくりに向けたイベントについては、今後官民一体で組織する分科会において事業実施の検討を行う。

【掲出事例】



〈新規〉デザイン思考人材育成事業

産業部産業振興課
電話:457-2281

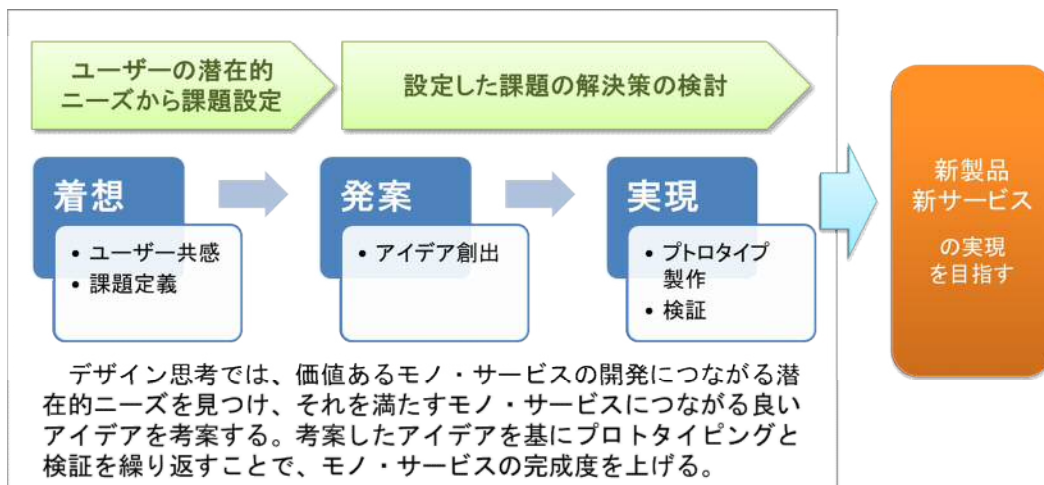
(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	4,060	2,030	0	0	2,030

※産業イノベーション支援事業 210,236千円の一部

目的	デザイン思考を習得した人材を輩出することで、製品の高付加価値化や新製品・新サービス開発を促進する。									
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年(2011年)に策定された本市の産業振興ビジョンである「はままつ産業イノベーション構想」のもと、イノベーション創出に資する諸施策に取り組んできた。 令和3年(2021年)に改訂された第2期構想において、社会課題解決によるイノベーション創出を新たに戦略に掲げ、その実現の為、デザイン思考に基づくユーザー視点に立った新事業開発の強化を重点ポイントに位置付けている。 									
事業内容	<p>座学及びワークショップの開催 4,060千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講対象者：企業経営者・新規事業担当者など 回数：3回程度 定員：30名 効果：新事業開発のプロセスを学んだ受講者が、各企業においてそれを発揮し、新製品・新サービスの開発や、新事業への展開が進むことを期待する。 <p>【当事業の位置付け】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>意識啓発</th> <th>デザイン思考習得</th> <th>製品開発</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 啓発セミナー </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> デザイン思考人材育成事業(当事業) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 浜松市新産業創出事業費補助金 浜松市新事業挑戦事業費補助金(デザイン思考講座受講者のうち) </td> </tr> <tr> <td>受講見込み：100名</td> <td>受講見込み：30社(企業)</td> <td>申請見込み：5社</td> </tr> </tbody> </table>	意識啓発	デザイン思考習得	製品開発	<ul style="list-style-type: none"> 啓発セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> デザイン思考人材育成事業(当事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 浜松市新産業創出事業費補助金 浜松市新事業挑戦事業費補助金(デザイン思考講座受講者のうち) 	受講見込み：100名	受講見込み：30社(企業)	申請見込み：5社
意識啓発	デザイン思考習得	製品開発								
<ul style="list-style-type: none"> 啓発セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> デザイン思考人材育成事業(当事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 浜松市新産業創出事業費補助金 浜松市新事業挑戦事業費補助金(デザイン思考講座受講者のうち) 								
受講見込み：100名	受講見込み：30社(企業)	申請見込み：5社								

【デザイン思考の概念図】



グローバルものづくり企業連携事業（イスラエル・インド）	産業部産業振興課 電話：457-2281
-----------------------------	-------------------------

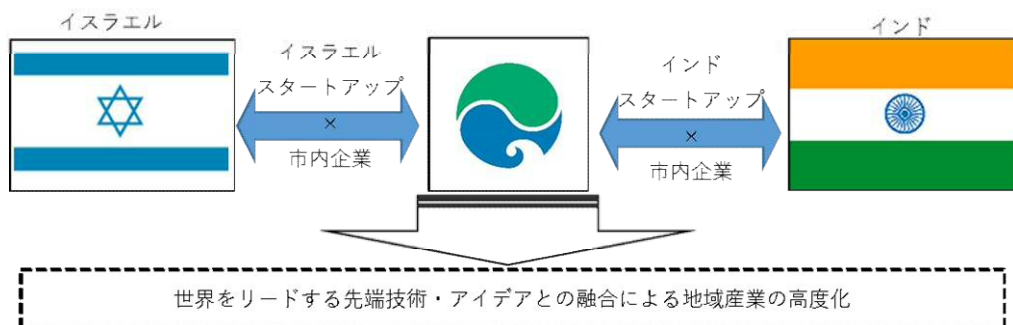
(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	19,530	8,402	0	0	11,128

※先端技術活用促進事業 84,980 千円の一部

目的	革新的な技術やアイデアを持つ世界のスタートアップと、本市ものづくり企業とのオープンイノベーションや実証実験の場の提供などを通じ、本市ものづくり企業の新事業創出を促進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ先進国とされるイスラエルでは、毎年多くの先端技術・アイデアをもつスタートアップが誕生しており、ネクストシリコンバレーとして世界中から注目を集めている。 ・インドでも多数のスタートアップが毎年誕生し、世界第2位の人口と旺盛な起業家精神、IT人材の豊富さなどにより次のスタートアップ大国として注目されている。
事業内容	<p>イスラエル及びインドへのミッション派遣を通じて、両国スタートアップに対する理解を深めるとともに、地域産業の高度化に繋げる。</p> <p>1 イスラエルへのミッション派遣 11,195 千円 (1) 時期：令和4年下半期 (2) 規模：団長その他、市内企業、大学関係者等 (3) ミッション概要：4泊6日程度の想定 日系政府系機関・日系企業・イスラエル政府系機関・スタートアップ支援機関等を訪問、マッチングイベント(意見交換会等)</p> <p>2 インドへのミッション派遣 8,335 千円 (1) 時期：令和4年下半期 (2) 規模：団長その他、市内企業、大学関係者等 (3) ミッション概要：4泊6日程度の想定 日系政府系機関・日系企業・インド政府系機関・大学・スタートアップ支援機関等を訪問、マッチングイベント(ピッチイベント、意見交換会等)</p>

【事業イメージ図】



(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	64,433	0	0	0	64,433

目的	近年加速する自動車産業の技術革新に伴うビジネス環境の変化に対応するため、県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する。
背景	次世代自動車センターは、近年の自動車産業を取り巻く環境の変化に対応し、県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業に携わる中小企業の次世代への取り組みを支援するため、平成30年4月に（公財）浜松地域イノベーション推進機構内に設立された。
事業内容	<p>1 次世代自動車センターのEVシフト支援事業に対する負担金 64,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域中小企業が次世代自動車に搭載される部品を開発するための5つの支援（技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓）に基づく事業を展開し、会員企業の技術開発支援やマッチング支援を行う。 ・令和4年度は、社会的課題である脱炭素化やデジタルものづくりについて、地域中小企業が取り組みうるテーマや方向性を示すための事業を新たに実施する。 <p>(1) 技術啓発 （新規）カーボンニュートラル対応セミナー 等</p> <p>(2) 技術研鑽 （新規）車両分解活動（中国製電気自動車） 等</p> <p>(3) 技術創造 （新規）デジタルものづくりに関する試作実習プロジェクト （新規）デジタルものづくり関連プロジェクト（ワークショップ・人材マッチング） 等</p> <p>(4) 人材育成、販路開拓</p> <p>2 浜松自動運転やらまいかプロジェクト実施経費 433千円</p>

【車両分解活動の様子】



〈新規〉マイスター・ハイスクール推進事業

産業部産業振興課
電話:457-2281

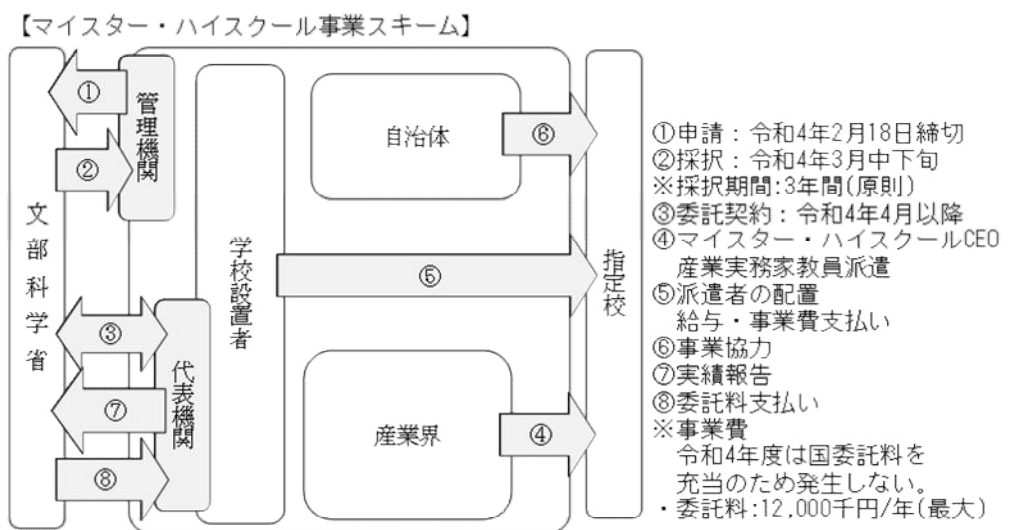
(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	—	—	—	—	—

※産学官連携促進事業 17,597千円の一部

目的	地域の持続的な成長を牽引するため、職業教育を主とする学科を置く高等学校と、産業の高度化やイノベーションを推進する産業界が一体・同期化し、絶えず進化する最先端の職業人材育成システムをリアルタイムで構築する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化といった社会構造の変化に加え、カーボンニュートラルなど社会変革への対応により、産業構造、仕事内容の変化はいつそう急激なものとなっており、こうした変化に即応した職業人材育成が求められている。 ・文部科学省では、産業界と一体となった専門高校の人材育成改革を目的として、次世代地域産業人材育成刷新事業（マイスター・ハイスクール）を令和3年度に創設した。
事業内容	<p>静岡県教育委員会及び産業界と連携し、市内高等学校において実施する「マイスター・ハイスクール」を文部科学省へ申請し、採択後に産業界からマイスター・ハイスクールCEO及び産業実務家教員を高等学校へ派遣する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 マイスター・ハイスクールCEO 「マイスター・ハイスクールビジョン」実行の中心人物として、職業人材育成システムを構築するとともに、学科や年限の改変も含めた教育課程の刷新の方向性を検討、決定する。 2 産業実務家教員 高等学校における実験・実習において、産業界の最先端の技術・知識等の指導を担当するとともに、産業界と一体となった教育課程の企画に関して統括する。

【事業イメージ図】



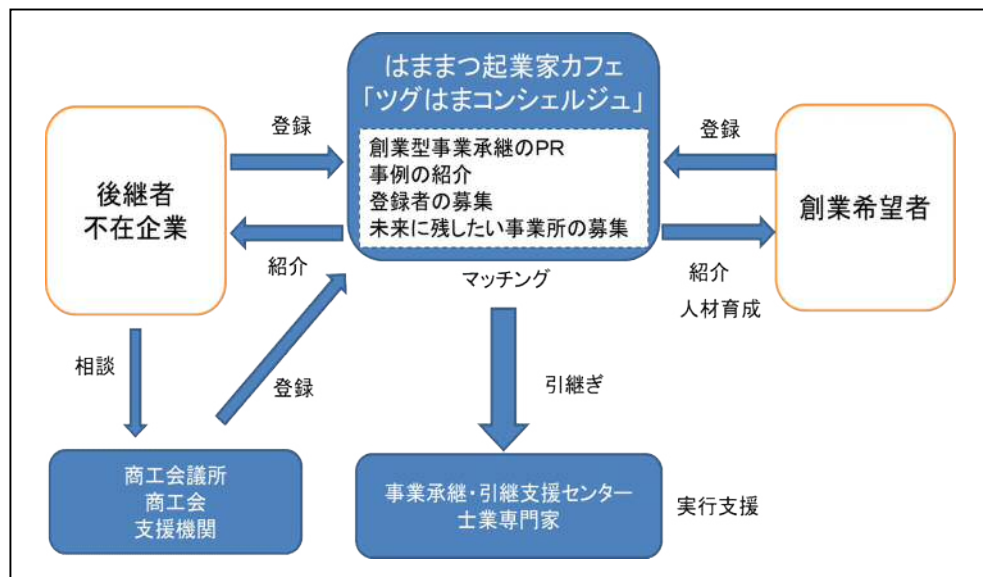
(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	1,095	0	0	0	1,095

※はままつ起業家カフェ運営事業 17,859 千円の一部

目的	「はままつ起業家カフェ」の特色を活かし、事業承継による創業希望者を支援し、後継者不在企業との初歩的なマッチング支援を実施することで、創業型事業承継を推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に実施した「浜松市事業承継実態調査」をもとに事業承継普及員が事業所を訪問し、啓発活動を実施している。 訪問を終えた企業のうち、後継者がいない企業は44.1%にのぼる。(令和3年7月末時点)
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 創業型事業承継支援 Web サイトの開設 <ul style="list-style-type: none"> 創業型事業承継のPR 創業希望者と後継者不在企業の登録者募集 創業型事業承継の相談事例紹介 未来に残したい事業所の募集 創業希望者と後継者不在企業の初歩マッチング <ul style="list-style-type: none"> 創業希望者と後継者不在企業のマッチング希望者を登録する。 創業希望者と後継者不在企業を引き合わせる。 双方が合意すれば、事業承継・引継ぎ支援センターに引継ぎ、事業譲渡の実行に必要な支援を行う。

【ツグはまコンシェルジュのイメージ】



〈新規〉 繊維産業海外販路開拓支援事業(パリ・ミラノ)

産業部産業振興課

電話:457-2281

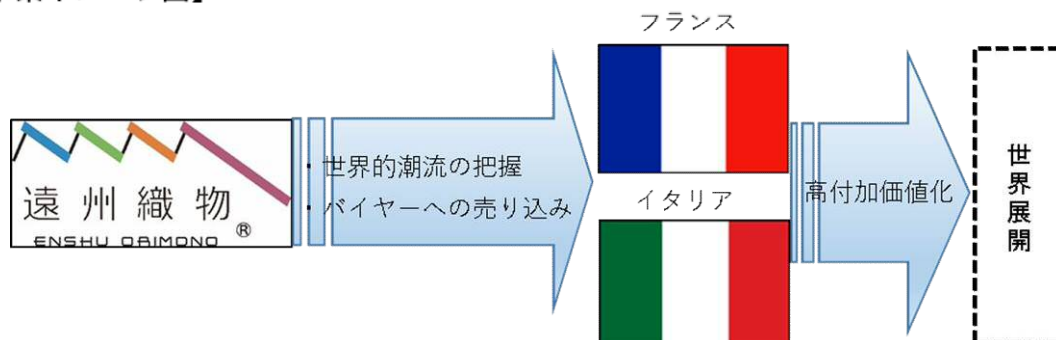
(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	12,871	4,390	0	0	8,481

※地域産業振興支援事業 39,825 千円の一部

目的	<p>新たな販路開拓として、海外との取引を希望する繊維産業の事業者を募り、世界最大の繊維見本市の視察を通じてトレンドやニーズを把握する。また、現地関係者への PR や商談を通じて遠州織物の海外販路開拓を図る。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松を中心とする遠州産地は、かつて日本有数の繊維産業の産地であり、現在も高級綿麻織物で知られ、国内外のビッグメゾンと取引がある事業者も存在する。 ・ 近年、アパレル不振、海外の安価製品、コロナによる外出自粛の影響等により、高価格帯の生地を扱う遠州産地では厳しい状況が続いている一方、世界的にサステイナブルな製品への関心が高まり、天然繊維を扱う遠州産地にとって追い風となっている。
事業内容	<p>パリ・ミラノへのミッション派遣及びパリでの浜松フェアの開催を通じ、繊維産業の海外販路開拓を図る。</p> <p>1 ミッション派遣 12,871 千円 (浜松フェア開催経費込)</p> <p>(1) 時期: 令和5年2月</p> <p>(2) 規模: 団長その他、遠州産地内の繊維関係事業者</p> <p>(3) ミッション概要: 7泊9日程度の想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外見本市 (プルミエールビジョン、ミラノウニカ) の視察、出展者意見交換 ・ バイヤー訪問、日系政府系機関訪問等 <p>2 パリにおける浜松フェアの開催 (農業水産課と合同開催)</p> <p>パリ市内の展示ギャラリーまたはホテルで遠州織物及び市内農産品を使用したプロモーション活動を実施する。</p> <p>(1) 対象: 繊維産業・食品産業のバイヤー、デザイナー、レストラン関係者等</p> <p>(2) 内容: 試食会、展示会、商談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直に遠州織物に触れてもらうことで、質や風合いの良さをPR ・ 市内の農水産品 (食品) を使った食事を提供することで、農水産品のPR

【事業イメージ図】



〈新規〉 トライアル発注認定事業

産業部産業振興課
電話: 457-2281

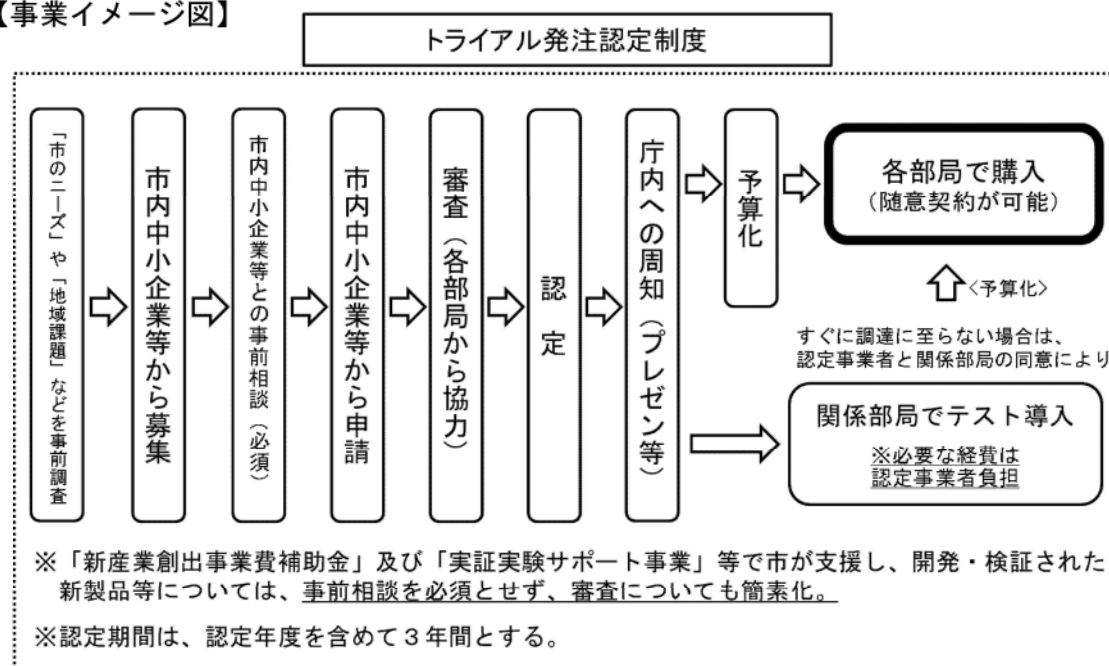
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	300	0	0	0	300

※地域産業振興支援事業 39,825 千円の一部

目的	本市の支援策などにより開発された市内中小企業及びスタートアップの新製品や新サービスについて、出口戦略のひとつとして本市で優先調達することにより、新製品、新サービスの普及、販路拡大を支援する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 「新産業創出事業費補助金」や「実証実験サポート事業」等で開発・検証した新製品等に関して、出口戦略が求められている。 本市中小企業振興基本条例第 15 条では、「市は、工事の発注、物品及び役務の調達等に当たっては、予算の適正な使用に留意しつつ、中小企業者の受注の機会の増大に努めるものとする」と規定している。
事業内容	<p>「新産業創出事業費補助金」や「実証実験サポート事業」等で開発・検証した新製品等の普及を支援するため、新規性や独自性など本市が定める基準を満たす新製品等を生産・提供する事業者を「認定事業者」として認定し、当該新製品等を本市が率先して導入・購入し評価する。</p> <p>浜松市トライアル発注認定事業審査会</p> <ul style="list-style-type: none"> 審査項目: 新規性、市場性、実現性など 購入費用: 各部局で予算化

【事業イメージ図】



ベンチャー支援関連事業

産業部スタートアップ推進課
電話:457-2825

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	496,015	23,968	0	3,109	468,938

※関連課 産業部産業振興課(電話:457-2281)
産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)
※財源(その他) 舞阪サテライトオフィス使用料等

事業 内容	1 受入環境設備補助等 58,099 千円
	(1) 起業家育成支援事業 インキュベート施設賃料補助金 29,991 千円 ・対象 HI-Cube の入居者で5年以内の者 ・対象経費 賃借料 ・補助率 入居日から3年目まで2/3以内、4年目から5年目まで1/2以内 (2) スタートアップ誘致事業 トライアルオフィス等管理運営 22,020 千円 ・対象 市内外のスタートアップ等 ・内容 はままつトライアルオフィス運営 舞阪サテライトオフィス運営 天竜トライアルオフィス運営 (3) スタートアップ誘致事業 スタートアップ等進出支援事業費補助金 6,088 千円 ・対象 本市に新たに進出したスタートアップ等 ・対象経費 オフィス賃料等 ・補助率等 1/2以内、上限額50千円/月
2 事業支援 357,335 千円	
	(1) スタートアップ支援事業 ・ファンドサポート事業 290,000 千円 ※別紙あり ・実証実験サポート事業 44,860 千円 対象 スタートアップ等 内容 フィールドの斡旋、モニター募集、PRの場の提供、 助成金(補助率1/2以内、上限額2,000千円/件) ・「ものづくり×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業 12,000 千円 対象 市内ものづくり企業 内容 市内製造事業者とスタートアップとのマッチング支援 共同開発プロジェクトの立ち上げ支援 共同開発プロジェクトの成果報告会 ・(新規) スタートアップ成長支援事業 10,475 千円 ※別紙あり

- 3 人材育成 36,770千円
- (1) スタートアップ支援事業
- ・ネクストイノベーター育成事業 32,000千円
対象 起業を志す人材や、ビジネスの成長を目指すスタートアップ経営者など
内容 ビジネスプランを募集し、半年間の有識者によるブラッシュアップを実施する伴走型の起業家育成プログラム
 - ・(新規) 次世代理工系人材育成事業 4,300千円 ※別紙あり
- (2) 起業家育成支援事業
- ・次世代起業家育成事業(浜松みらい塾) 300千円
 - ・高校生ものづくりコトづくりプランコンテスト 170千円
- 4 プロモーション 36,849千円
- (1) 先端技術活用促進事業
- ・(臨時) グローバルものづくり企業連携事業(イスラエル) 11,195千円
 - ・(臨時) グローバルものづくり企業連携事業(インド) 8,335千円
- (2) スタートアップ支援事業
- ・(新規) スタートアップ支援PR事業 5,159千円 ※別紙あり
- (3) スタートアップ誘致事業
- ・首都圏企業拠点誘致事業 11,000千円 ※別紙あり
- (4) テレワーク推進事業
- ・テレワークサポート冊子制作 1,160千円
- 5 イベント等 6,962千円
- (1) スタートアップ支援事業
- ・ベンチャー支援アドバイザー 1,808千円
内容 本市のスタートアップ支援政策に対する助言指導等
 - ・ベンチャー意見交換会 554千円
対象 市内スタートアップ等
内容 市長との意見交換会や成長に必要なノウハウに関する勉強を開催
- (2) 首都圏ビジネス情報センター事業
- ・(新規) 浜松スタートアップナイト開催事業 1,500千円 ※別紙あり
- (3) テレワークパーク事業 3,100千円
- ・対象 首都圏等からのワーカー
 - ・内容 テレワークパークの利用促進のためのイベント開催等

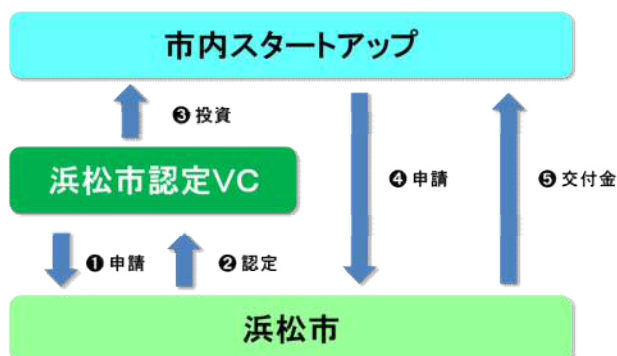
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	290,000	0	0	0	290,000

※スタートアップ支援事業 402,156 千円の一部

目的	スタートアップ等に対するベンチャーキャピタル (VC) の出資に協調して交付金を交付し、市内スタートアップ投資の活性化を通じてスタートアップの成長を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の研究開発・ものづくり系を中心としたスタートアップの多くが、資金調達の悩みを抱えている。 ・シード期(創業間もない時期)のスタートアップの支援の強化や、市内企業とスタートアップの協業によるイノベーション創出を促進する必要がある。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 制度概要 <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市が認定した VC から令和 4 年度中に受けた投資額と同額を交付 ・令和 3 年度時点において、認定 VC は 41 社 2 対象 <ul style="list-style-type: none"> ・シード・R&D (研究開発) 枠 起業後 5 年以内で研究開発を伴う事業を主な事業とするスタートアップ ・一般枠 ミドル期(成長期)までのスタートアップ ・地域定着枠 市内企業と研究開発の伴う協業を行うスタートアップ 3 交付金額 <ul style="list-style-type: none"> 認定 VC から令和 4 年度中に受けた投資額を上限とする ・シード・R&D 枠: 1,000 万円、一般枠: 4,000 万円、地域定着枠: 2,000 万円 ・申請事業全体事業費の 1/2 4 実績 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 3 社: 150,000 千円、 ・令和 2 年度 上半期 5 社: 194,000 千円、下半期 5 社: 230,700 千円 ・令和 3 年度 上半期 7 社: 205,000 千円、下半期公募実施中

【事業のスキーム図】



〈新規〉スタートアップ成長支援事業

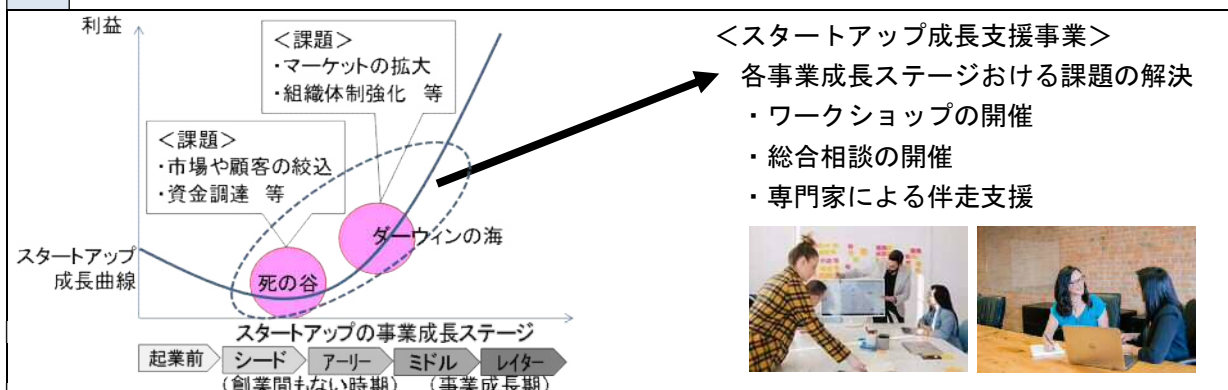
産業部スタートアップ推進課
電話: 457-2825

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	10,475	5,237	0	0	5,238

※スタートアップ支援事業 402,156 千円の一部

目的	市内スタートアップに対し、事業成長のステージに応じて必要となる知識やノウハウを提供するとともに、事業計画等の相談対応や専門家による伴走支援等を実施することで、スタートアップの成長の加速化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップは、資金調達や人材確保など、事業成長ステージに応じ様々な課題を抱えている。 ・スタートアップの成長に必要な「ヒト・カネ・機会」等あらゆる要素について、相談をいち早く受けられる環境や、各支援機関を有機的に結び付けるコーディネート機能が必要である。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークショップの開催 スタートアップの成長プロセスの各ステージにおいて、重要度の高いテーマを取り上げて、ワークショップを開催 ・テーマ案 ビジネスプランの改善、資金調達、幹部人材等の確保、PR 戦略、ブランド構築、組織・財務体制強化、販路拡大 等 2 スタートアップ総合相談の開催 資金調達や組織強化等の課題に対応するための総合相談を定期的実施 ・開催回数 月2回 ※オンライン・オフライン併用 ・対応者 スタートアップ支援について総合的な知識及び関連機関・人材（起業家、ベンチャーキャピタル等）とのネットワークを有する者 3 専門家による伴走支援 ビジネスプランや組織、知財等の専門分野において、外部メンターや地域支援機関等による個別伴走支援を実施 ・テーマ案 ビジネスプランの作成、マーケティング、組織、法知識、会計、知財、地域企業との協業 等



〈新規〉スタートアップ支援PR事業

産業部スタートアップ推進課
電話: 457-2825

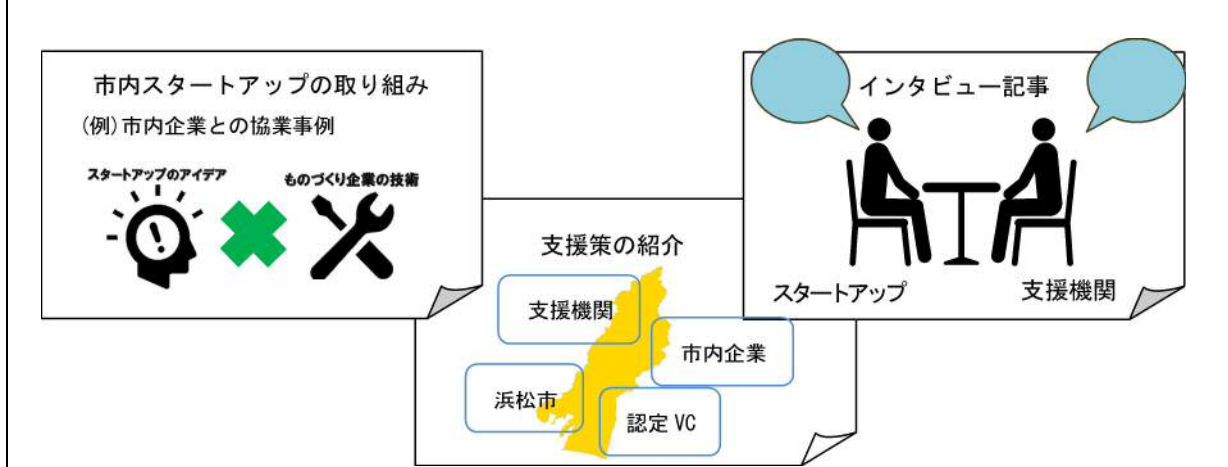
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	5,159	2,579	0	0	2,580

※スタートアップ支援事業 402,156 千円の一部

目的	本市のスタートアップ支援について、地域全体で実施する取り組みを市内外のスタートアップや支援機関に積極的にアピールすることで、市内スタートアップの掘り起こしや市外スタートアップの誘致に繋げる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市のスタートアップ支援事業の一層のPRを進めるため、支援を行ったスタートアップの取り組みや地域一丸となったスタートアップ支援体制を見える化することが重要である。 本市の特徴である「国土縮図型都市」や「浜松バレー構想」、「グローバル拠点都市」をスタートアップ誘致の強みとしてビジュアルで分かり易く伝える必要がある。
事業内容	<p>1 浜松市ベンチャー企業進出・成長応援サイト「HAMACT!!」の掲載情報の拡充 本市で支援しているスタートアップの情報や地域の支援体制等を「HAMACT!!」で積極的に発信することで、本市のスタートアップ支援の強みをアピールし、スタートアップにとって魅力ある街であることをPRする。 掲載事業(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内スタートアップ、認定ベンチャーキャピタル、支援機関等のインタビュー記事の掲載 実証実験や市内企業と協業を進めるスタートアップの取組紹介 市内スタートアップ支援機関の取組紹介 <p>2 スタートアップ支援・誘致に活用するイラストの作成 作成したイラストをスタートアップ誘致のPRや、本市のスタートアップ支援のプレゼンテーションに活用することで、ターゲット企業に効果的に本市の支援をアピールする。</p>

【浜松市ベンチャー企業進出・成長応援サイト「HAMACT!!」への新たな掲載記事のイメージ】






〈新規〉次世代理数系人材育成事業

産業部スタートアップ推進課
電話: 457-2825

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	4,300	0	0	0	4,300

※スタートアップ支援事業 402,156 千円の一部

目的	浜松地域の次世代を担うスタートアップ経営者及びトップ技術者の創出を目指し、高校生を対象として、数学に強い次世代人材を育成する。	
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI や ICT 等の技術革新によりあらゆる産業で理数系人材の需要が高まっており、ものづくり産業が集積する当地域においても、将来にわたり優秀な理数系人材の確保が必要である。 ・ 本地域の将来を担う次世代を対象とした起業家教育が重要である。 	
事業内容	<p>1 特別講座 数学の応用事例や世界トップレベルの 3 次元ソフトウェア等の技術を体感する特別講座を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 浜松地域の高校生 (50 人程度) ・ 内容案 数学の応用事例の紹介、3 次元ソフトウェア技術体感、起業家精神の醸成 <p>2 数学コンテスト 本市において、全国の理数系トップレベルの高校生を対象とした数学コンテストを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 浜松地域及び全国の高校生 (30 人程度) ・ 内容案 1 日目: 講義 (数学の応用事例紹介)、問題発表、解答 2 日目: 採点、解説、表彰式 	
〈事業スキーム〉		
1 特別講座受講	2 数学コンテスト参加	スタートアップ経営者 ・ トップ技術者の創出 (将来)
		

首都圏企業拠点誘致事業

産業部スタートアップ推進課
電話：03-3556-2788

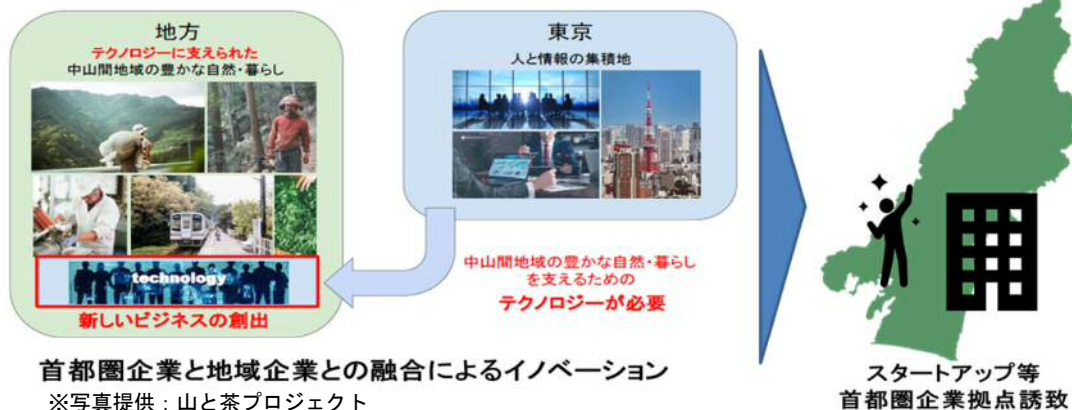
(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	11,000	5,500	0	0	5,500

※スタートアップ誘致事業 39,174 千円の一部

目的	民間企業のネットワークやノウハウを活用した戦略的な首都圏企業の拠点誘致により、浜松市における企業連携の強化及び新事業の創出、新たな雇用創出を促進し、本市経済の活性化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、新しい働き方の導入が進み、首都圏企業のオフィスの地方分散や地方におけるイノベーション創出の動きが加速している。 ・本市のスタートアップ施策が全国のスタートアップやベンチャーキャピタル、支援機関から注目されている。
事業内容	<p>スタートアップ等首都圏企業を市内に誘致し、地域企業との融合によるイノベーションを創出するため、令和3年度の実施事業を基に、市内モデル地区（天竜区二俣）を中心として、首都圏企業と地域企業の融合を促進する「オープンイノベーション事業」を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインイベントを年5回程度実施し、地域課題（ビジネスの種）、課題解決のヒントなどを発信する。（定期開催（2か月に1回程度）） 2 フィールドワーク <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区（天竜区二俣）において、多様な企業間交流や、新ビジネス発掘討議等を年1回実施する。（秋頃開催） 3 マッチング・コーディネート <ul style="list-style-type: none"> ・新規ビジネスを目指す地域企業及び首都圏企業など、参加企業の発掘 ・企業間共創、実証実験の実施等に向けたマッチング及びコーディネート（随時）

【事業全体のイメージ図】



〈新規〉浜松スタートアップナイト開催事業

産業部スタートアップ推進課
電話:03-3556-2788

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	1,500	750	0	0	750

※首都圏ビジネス情報センター事業 13,782 千円の一部

目的	首都圏において、スタートアップ企業誘致をテーマとしたシンポジウムを開催し、首都圏のスタートアップ企業等に対する本市のPRを通じて、スタートアップ企業の誘致に繋げる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・本市でのスタートアップの集積を促進するためには、本市において事業を展開する意義や魅力を広く周知する必要がある。 ・本市の首都圏におけるスタートアップの誘致拠点である「CIC Tokyo」において、国内外に向けた情報発信や地域企業とのマッチングを行い、国内外に向けて本市の知名度を高めていく必要がある。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 シンポジウムの開催 (案) <ul style="list-style-type: none"> ・本市の取組紹介 ・基調講演 ・スタートアップへの本市魅力の情報発信 ・市内スタートアップ企業によるプレゼンテーション ・パネルディスカッション 2 シンポジウムPR <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム開催告知用のデジタル媒体の作成 ・スタートアップ企業やスタートアップ企業ネットワークを持つベンチャーキャピタル等へのPRを通じた、シンポジウムへの参加を促進

【事業全体のイメージ図】



首都圏において、浜松市に特化したシンポジウムを開催



首都圏企業等のオフィス進出先として本市を選択してもらえるよう、本市の認知度向上を図り、本市への拠点誘致につなげる

企業立地促進助成事業

産業部企業立地推進課
電話: 457-2282

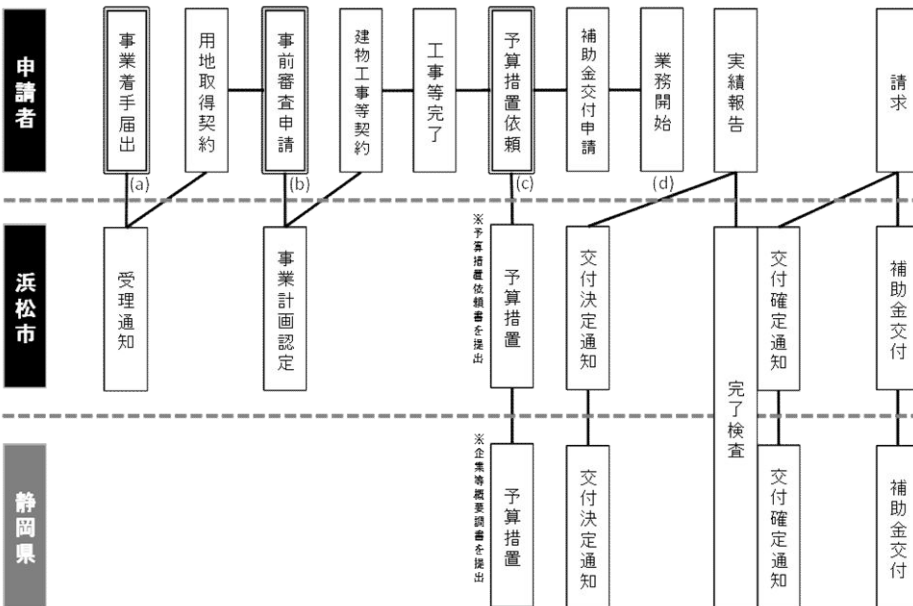
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	2,526,283	0	0	1,705,653	820,630

※財源（その他）商工業振興施設整備基金繰入金

目的	市内に立地した企業に対して、用地取得、新規雇用、建物・機械設備投資にかかる経費の一部及び操業後の固定資産税等相当額を助成することにより、企業立地の促進を図る。
背景	企業の誘致や市外流出防止が重要な課題となる中で、企業の立地促進及び成長分野への転換を支援する必要がある。
事業内容	<p>市内で新たに工場等を設置した企業に対し、補助金を交付する。</p> <p>補助内容</p> <p>1 企業立地促進事業費 1,705,653 千円 (36 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地取得費 補助率 15~20/100 ・ 新規雇用従業員 50 万円/人 ・ 設備投資費 補助率 10/100 <p>2 企業立地奨励費 820,630 千円 (74 件)</p> <p>土地・家屋に係る固定資産税、都市計画税及び事業所税（資産割）相当額</p>

補助金交付手続きの流れ




(a)…用地取得契約の1日以上前に届出
(b)…建物工事等契約の1ヶ月以上前に申請
(c)…補助金交付申請年度の前年度8月末までに提出
(d)…補助対象経費の支払が全て完了し、計画された雇用が達成され本格的に操業を開始すること

浜松まつり事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話：457-2295

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	57,200	0	0	0	57,200

目的	本市最大のイベントである浜松まつりを円滑に運営・開催することにより、伝統の継承、観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松まつりは、約450年前、当時の引間城主に長男が生まれたことをお祝いして、名前を入れた凧を揚げたことが始まりと言われている伝統的なまつりである。 ・令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小開催となった。
事業内容	<p>浜松まつりの開催に対する支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開催期間 令和4年5月3日（火）から5日（木）まで 2 実施内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 凧揚げ 感染対策を実施のうえ、有観客にて実施 (2) 夜の中央統一行動 中止 (3) 関連イベント 感染対策を実施のうえ、有観客にて実施 <p>※ただし、感染状況により実施内容は変更となる可能性あり</p> 3 実施主体 浜松まつり組織委員会 構成員：まつり参加登録各町、浜松商工会議所、浜松市、企画統制監理部（統監部） （公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー（事務局）
	 <p>凧揚げの様子</p>

家康プロジェクト推進事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話: 457-2295

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	846,662	204,072	0	0	642,590

目的	大河ドラマ「どうする家康」の放送を好機として、観光誘客により地域経済の活性化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年1月から大河ドラマ「どうする家康」の放送が決定した。 官民連携組織として「家康プロジェクト推進協議会」を立ち上げ、誘客、食、交通等の関連分野の民間企業と市が一体となって、本プロジェクトを推進していく。
事業内容	<p>1 大河ドラマ館関連事業 511,680千円 誘客の核となる大河ドラマ館を建設し、ドラマのストーリーやキャストの紹介、実際に使われた小道具や衣装の展示等を行う。また、浜松城跡の遺構を展示する。</p> <p>2 誘客宣伝事業 175,693千円 <ul style="list-style-type: none"> 本市が「家康公ゆかりの地」、「出世の街」であることを域内外に発信するため、民間企業等と連携し、誘客イベントやプロモーション等を行う。 「三方ヶ原の戦い」から450年を迎えることを記念し、シンポジウムやトークショーなどのイベントを実施するとともに、史跡のVRやARなどを制作する。 誘客促進のため、首都圏や関西圏等へのセールスプロモーションを行う。 </p> <p>3 家康プロジェクト推進協議会事業 159,289千円 大河ドラマ館の管理運営を行うとともに、家康公ゆかりの地を巡る旅行商品の造成をはじめとした観光誘客に資する事業を展開する。</p>



大河ドラマ館イメージ

〈新規〉観光キャンペーン事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話: 457-2295

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	200,000	200,000	0	0	0

※デジタル国内誘客推進事業 206,698 千円の一部

目的	新型コロナウイルスの感染拡大により、市内宿泊施設をはじめとした観光業への影響が深刻化していることから、宿泊費の一部を助成する「観光キャンペーン」を実施することで、本市への来訪を誘引し、市内観光関連産業の振興を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁は、「新たな GoTo トラベル事業」として、令和4年のGW前までは国による事業を、GW後から夏の繁忙期前までは都道府県による事業を実施する予定である。 令和5年1月の大河ドラマ「どうする家康」の放送開始に合わせて、誘客の核となる大河ドラマ館の開館を予定している。
事業内容	<p>国内オンライン予約サイトを活用した「観光キャンペーン」の実施</p> <p>1 事業内容 国内オンライン予約サイトへ特設ページを開設し、宿泊割引クーポンを発行する「観光キャンペーン」を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間 令和4年9月以降(予定) 対象 市内施設の宿泊予約 クーポン 2,000円~5,000円の割引クーポンを想定 <p>2 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> (公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローとの共同事業として実施 国内オンライン予約サイトと契約を締結し、各サイトでキャンペーンを開催予定



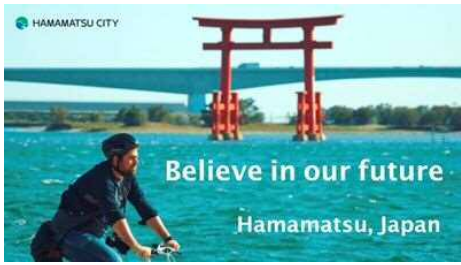

「春一番!浜松・浜名湖観光キャンペーン」(2020年)特設ページ

インバウンド推進事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話：457-2295

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	73,590	26,850	0	0	46,740

目的	デジタルマーケティングを活用したプロモーションを実施し、本市観光産業の持続的な発展を目指す。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 各ターゲット市場の経済的損失により短期的には縮小が見込まれるが、中長期的にはインバウンド需要の拡大が見込まれる。誘客施策が出遅れると再開の際に回復が見込めない可能性もあるため、旅行会社との関係を維持・発展させる必要がある。 本市は、海外向け動画と SNS によるプロモーションを実施し、多言語観光ウェブサイトに FIT 向け旅ナカ情報や市内の感染防止対策等の掲載情報を充実させている。
事業内容	<p>令和4年度内に入国規制が解除され、観光を目的とした海外渡航が再開することを前提に、インバウンドの早期回復を目指した以下の施策を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 浜名湖観光圏事業 6,492 千円 官民連携によるプロモーション、外国人観光客の受入環境整備等浜名湖観光圏事業 広域連携事業等 10,650 千円 JNT0、東海地区外国人観光客誘致促進協議会その他連携先との共同実施事業等 デジタルマーケティング推進事業 29,700 千円 インバウンド獲得に向けた動画プロモーション、WEB 広告配信、SNS キャンペーン等のデジタルマーケティング業務の委託 (臨時) 外国人観光客送客助成事業 12,000 千円 公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューローと共同実施する訪日旅行取扱旅行会社、ランドオペレーター等に対する送客インセンティブ制度 その他プロモーション事業等 14,748 千円 団体旅行商品造成に向けた海外旅行会社等との商談支援業務の委託、中部地域の観光団体との広域連携による招請事業の実施及びコールセンター及びセールス対応等
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>デジタルマーケティング</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オンライン FAM</p> </div> </div>

特産品販路拡大事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話:457-2295

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	106,540	100,000	0	0	6,540

※特産品カタログギフト事業 2,000 千円、公式オンラインアンテナショップ事業 104,540 千円の合計

目的	インターネット上にて本市の公式アンテナショップを運営するとともに、特産品カタログギフトの作成・販売をすることで、地場産品の販路拡大と関係人口の増加を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月にインターネットショッピングモール「楽天市場」に公式オンラインアンテナショップをオープンした。 オンラインショッピングなどのEC（電子商取引）の取扱額は、年々増加しており、地場産品の販売チャンネルとしても存在感が高まっている。
事業内容	<p>1 公式オンラインアンテナショップ事業 104,540 千円 公式アンテナショップの運営及び定期的なキャンペーン（WEB物産展）の実施</p> <p>(1) 公式アンテナショップ 4,540 千円 ・出店先：インターネットショッピングモール「楽天市場」 ・出品／事業者数：407品／113事業者</p> <p>(2) WEB物産展 100,000 千円 ・開催場所：インターネットショッピングモール「楽天市場」 ・出品／事業者数：1,400品以上／87事業者</p> <p>2 特産品カタログギフト事業 2,000 千円 本市の特産品を掲載したカタログギフトの販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタログ名 浜名湖だより ・取扱先 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー事務所、谷島屋書店浜松本店等 ・取扱品数 70品 ・事業者数 44事業者

公式オンラインアンテナショップとWEB物産展の関係 特産品カタログギフト「浜名湖だより」



マイクロツーリズム推進支援事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話: 457-2295

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	100,000	100,000	0	0	0

目的	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、旅行需要を段階的に回復させるため、市内の旅行事業者が造成する市民等を対象とした旅行商品の利用を支援する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナ期において、感染拡大の防止及び地域住民による地域の魅力再発見の促進と、旅行需要回復に向けた施策として、周辺地域を旅行するマイクロツーリズムが浸透しつつある。 ・コロナ収束後においても、地域住民の旅行に対する考え方の変化による新たな旅行需要への対応策として、マイクロツーリズムを継続して推進する必要がある。
事業内容	<p>市民等を対象とした市内旅行商品の利用に対する支援の実施</p> <p>1 実施期間 令和4年9月以降(予定)</p> <p>2 対象 市民等による市内宿泊旅行 ※国内旅行を取り扱う旅行代理店を経由して予約したもの</p> <p>3 助成金額 1人1泊5,000円</p>



マイクロツーリズム

自宅から1時間~2時間圏内の地元又は近隣への観光



①感染拡大の防止、②地域の魅力再発見の促進、③地域経済の活性化

1億円キャッシュバックキャンペーン事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話: 457-2295

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	260,000	260,000	0	0	0

※はままつ安全・安心な飲食店認証制度事業267,890千円の一部

目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の飲食業界への経済支援及び市民の需要喚起を図るため、市民が飲食店にて利用した金額を助成する。
背景	ウィズコロナ期において経済活動を活性化させる必要があるため、市内での飲食店の利用促進が求められている。
事業内容	<p>市内の飲食店を利用した際に支払った額と同額をキャッシュバックするキャンペーンの実施</p> <p>1 概要 (予定)</p> <p>(1) 実施時期 令和4年度のうち1か月程度の期間で2回実施予定 ※予算に達し次第終了</p> <p>(2) 対象店舗 市内飲食店 (はままつ安全・安心な飲食店認証制度の認証店舗等)</p> <p>(3) 還元額 支払額と同額 (上限: 50,000円/回)</p> <p>(4) 対象者 人数制限なし 応募は会計ごとに1人のみとし、18歳未満は応募不可</p> <p>(5) 当選者 400組/日</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の感染状況により、キャンペーン期間の変更や期間途中での中止の可能性あり ・これまでに4回実施 (令和3年3月、4月~5月、12月、令和4年4月以降 (予定))



3密対策を実施しての飲食



過去のキャッシュバック
キャンペーンのHP

〈新規〉YouTube を活用した魅力発信事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話: 457-2295

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	9,955	4,977	0	0	4,978

※シティプロモーション事業 958,404 千円の一部

目的	影響力のあるユーチューバーなどのインフルエンサーを活用し、本市の魅力を YouTube などで発信することで、本市の認知度向上と魅力の発信、本市への誘客につなげる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・通信環境やプラットフォームの進化により、YouTube をはじめとした動画閲覧機会が増加し、インフルエンサーの発信力が高まっている。 ・本市が有する音楽や歴史資源を活用したブランディングや魅力発信において、訴求力のある手法により更なるブランドの浸透と認知度の向上を図る必要がある。
事業内容	<p>「歴史」「音楽」「旅」など、本市の特色の発信に効果的なユーチューバーを起用し、ユーチューバーのチャンネル等において継続的に視聴できる動画コンテンツを制作する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史系コンテンツ動画 (10分×2本) 歴史系ユーチューバーや専門家による家康公浜松城城主時に起こった戦の解説や、浜松を中心とした勢力図変遷の解説、本市の城を巡る解説等 2 音楽系コンテンツ動画 (6分×2本) 音楽系ユーチューバーによるストリートピアノや楽器メーカー訪問動画等 3 旅系コンテンツ動画 (10分×2本) 旅系ユーチューバーによる「浜松パワーフード」等を中心とした食レポや観光情報、古地図で巡る浜松の旅等
 <p>動画イメージ</p>	

電子決済サービス等を活用したポイント還元事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話: 457-2295

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	840,000	840,000	0	0	0

※シティプロモーション事業 958,404 千円の一部

目的	電子決済サービス等を提供する事業者と連携したキャンペーンを実施し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の飲食業、小売業等を支援する。
背景	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の飲食業、小売業等の事業者を支援し、ウィズコロナ期において市内の経済活動を活性化させる必要がある。
事業内容	<p>電子決済サービス等を活用したポイント還元キャンペーンの実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 事業内容 対象の電子決済サービス等を導入している店舗において、ユーザーが支払いを行った場合に、一定のポイント還元を受けられる。 対象店舗 <ul style="list-style-type: none"> 電子決済サービス等加盟店の中から、大規模店舗等（※）を除く市内店舗 ※一定規模以上の売り上げがある店舗等 キャンペーン対象店舗には、店頭で専用ポスターやステッカーを掲示する予定 実施時期 令和4年度のうち1か月程度（予定） 想定還元額 <ul style="list-style-type: none"> 利用者1回あたり支払額の30%程度をポイント還元（予定） その他 <ul style="list-style-type: none"> これまでに3回実施（令和2年7月、令和3年11月、令和4年1月）
<p> 浜松市 → 委託契約 → 電子決済サービス等 提供事業者 </p> <p> → : 支払い → : ポイント </p>	